

緩和ケア

(1) 一般目標 (GIO)

悪性腫瘍の患者とその家族に対して全人的対応ができるように、緩和ケアに関する知識と技能を習得するとともに心理社会的側面にも配慮した態度を身につける。

(2) 行動目標 (SBOs)

- ①全人的苦痛（トータルペイン）を理解し、がん患者に対して全人的ケアができる。
- ②患者・家族とのコミュニケーションのスキルを学び、応用できる。
- ③がん患者の疼痛緩和の原則、特に医療用麻薬の使用の原則を理解し、適切に使用できる。
- ④がん患者の疼痛以外の身体症状（呼吸困難、消化管閉塞など）を理解し、適切に対応できる。
- ⑤がん患者の精神症状（適応障害、抑うつ、せん妄など）を理解し、適切に対応できる。
- ⑥鎮静（セデーション）について理解し、適切に実行できる。
- ⑦緩和ケアにおける栄養評価・リハビリについて理解する。
- ⑧チーム医療をおこなうことができる。
- ⑨自らの死生観を涵養するとともに、患者・家族の死生観を尊重することができる。

(3) 方略 (LS)

- ①研修初日に指導医・上級医からオリエンテーションを受ける。
- ②緩和ケアマニュアルについて指導医・上級医から講義を受ける。
- ③指導医・上級医の指導のもと、緩和ケア病棟の患者を診察し、症状緩和のための治療、処置をおこなう。
- ④一般病棟に入院中の患者とその家族に対する緩和ケア病棟転棟のための面談に参加する。
- ⑤他院または当院外来から緩和ケア病棟への入院を希望する患者・家族との面談に参加する。
- ⑥一般病棟での症状緩和チーム（緩和ケアチーム）の回診に参加する。
- ⑦臨終の立ち会いを経験する。

(4) 評価 (EV)

- ①研修医は、ローテート終了時に自身の研修達成度を確認しながら、自己評価を行う。
- ②指導医あるいは上級医は、全ての行動目標に対して、観察記録あるいは口頭試験などによる形成的評価を適宜行う。目標によっては必要に応じて看護師など医師以外の評価者も観察記録による形成的評価を行う。総合的な評価結果はローテート終了時にfeed backされるとともに、オンライン臨床研修評価システムにて記載される。
- ③指導医は提出された病歴要約により、経験すべき症候・疾病・病態に関する理解度について形成的評価を行う。

【週間スケジュール例】

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
午後	緩和ケアチーム	緩和ケア外来	緩和ケア外来	新患外来	緩和ケアチーム

・その他

- ① 朝の申し送り（毎日8:45-9:00）に参加する。
- ② 昼の病棟カンファレンス（毎日13:30-14:00）に参加する。
- ③ 適時、一般病棟で緩和ケア病棟転棟のための面談をおこなう。
- ④ 看護師と共に夜勤を体験する。
- ⑤ 緩和ケアチーム回診も毎日行う